

第 194 回 役員 会議 事 録 (要 録)

平成25. 10. 8 (火) 15:00 ~ 16:19

場 所 : 法人本部棟5F3会議室

出席者	浅原, 坂越, 上, 岡本, 吉田, 平野 以上役員 6名
欠席者	茶山
オブザーバー	西口, 間田, 相田, 江坂, 富永, 平川, 神谷, 河村

(報告)

1. 平成24年度に係る業務の実績に関する評価結果(原案)について ----- 資料1
(学長報告)

国立大学法人評価委員会による平成24年度に係る業務の実績に関する評価結果(原案)に対する意見照会について, 以下のとおり報告があった。

- ・ 全体評価は, 「法人の基本的な目標」に沿って計画的に取り組んでいるとの評定であった。
- ・ 業務運営の改善, 財務内容の改善, 自己点検・評価及び情報提供に関しては, 「順調に進んでいる。」, その他業務に関しては, 「やや遅れている。」との評定であった。
- ・ その他業務については, 教員等個人宛ての寄附金について個人経理されていた事例があったこと, 個人情報の不適切な事例があったことが勘案されたものである。
- ・ 個人情報の不適切な事例は「多数」あったとの指摘について, 正確性に欠ける表記として字句修正の意見を提出する予定である。
- ・ 各理事室で内容を確認の上, 意見等がある場合は, 10月10日までに総務グループへ連絡すること。意見等の取りまとめについては, 学長に一任いただきたい。

2. 国立大学のミッションの再定義について ----- 資料2
(坂越理事(教育担当), 吉田理事(研究担当)報告)

ミッションの再定義について, 教員養成分野及び工学分野に係る資料(個票)案が文部科学省から提示された旨, 報告があった。各分野の主な強みや特色, 社会的な役割は以下のとおり。

○ 教員養成分野

- ・ 広島大学の教員養成分野は, 広域の拠点的作用を目指す。
- ・ 常勤の教諭経験を有する者を第3期中期目標期間末に30%確保する。
- ・ 広島県教育委員会等の連携・協働により, 第3期中期目標期間中に教職大学院を設置し, その修了者の教職就職率95%を確保する。

○ 工学分野

- ・ 世界トップレベル(キーワードとして記載する)の研究を行う。
- ・ 工学系数学統一試験, 「HiPROSPECTS (R)」等の実績を活かした教育の改善・充実を図る。
- ・ 機能性材料創製, 半導体・ナノテクノロジー等, 世界をリードする実績を活かした研究を推進する。

3. 時間外労働及び休日労働の実績について ----- 資料3
(平野理事(財務・総務担当)報告)

平成 25 年 9 月における時間外労働及び休日労働の実績について報告があり，引き続き時間外労働等の縮減に努めることとした。

4. 各室報告 ----- 資料 4

各担当理事及び副学長から，各室の課題に関する進捗状況等について報告があった。

(意見交換)

1. 広島地域国公立大学連携知的人材育成センターにおける教育・研究プロジェクトの学内公募の結果について

(学長説明)

広島地域国公立大学連携知的人材育成センターにおける教育・研究プロジェクトの学内公募の結果について，応募件数は7件であった旨説明があった。応募件数が少なかったこと，また，とりわけ社会人の受け入れにつながるプロジェクトの応募が少なかったことから，公募期間の延長など，今後の対応について，河野学長特命補佐（東千田キャンパス機能充実WG座長）と相談の上進めることとした。

なお，本事業の選定のための審査は，次のとおり行うこととした。

- ・ 審査は，役員会に設置する選定委員会において行う。
- ・ 選定委員会のメンバーは，学長，理事・副学長，理事，副学長及び研究科長とする。
- ・ 面接審査を行い，採択プロジェクトを決定する。

以上（資料添付略）